

**2018（平成30）年度：4年目（最終年度）**

## **まちづくり事業報告書**

# **「地域資源の空き家を活用した 定住促進事業」**

# 目次

- 1) 事業の目的と概要……3**
- 2) 移住相談／アプローチ……4**
  - ① HP、Facebook、ブログから
  - ② ZOOM、Skype、ChatWork などネット会議から
  - ③人を介して、口コミによって
  - ④地元のイベントから
  - ⑤パンフレットから
  - ⑥説明会・相談会から
- 3) 移住相談の事例……4**
  - ①暮らし相談、仕事相談、生き方相談
  - ②移住者 Map を渡す
  - ③移住者と地域のキーマンに紹介
  - ④田舎暮らし入門を渡す
  - ⑤地域の案内
  - ⑥宿泊提供
- 4) 定住に結びついた人、可能性ある人……5**
- 5) 仕事をつなげる……6**
  - ①山里いきいき応援隊
  - ②地域密着型通所介護施設
  - ③森林組合／養護施設／木工所
  - ④田河内のお茶
  - ⑤インドネシア家族 ハラルの食品加工
- 6) 空き家・土地の情報収集……7**
  - ①地域よりの口コミによる実地調査
  - ②パンフレット
  - ③空き家海洋の問題点
  - ④空き家の活用から「手ばらし」解体まで
- 7) 移住説明会・田舎暮らし講座……9**
  - ①まちなかの公共施設にて
  - ② ZOOM でネット相談
  - ③ネット放送
  - ④講演活動など
- 8) 交流促進……9**
  - ①地元と移住者の田んぼづくり
  - ②親子の交流の場づくり
  - ③田舎暮らし相談会での交流
  - ④知的障害者の山里体験
- 9) 広報発信……11**
  - ①ホームページ、SNS の活用
  - ②雑誌、新聞広報
  - ③はままつタウンTV
  - ④ ZOOM での会議と相談
- 10) 今後の課題……11**
  - ①田舎暮らし希望者の意識
  - ②仕事がないと定住は難しい
  - ③移住者の子育ての難しさ
  - ④地元との交流
  - ⑤地道な広報活動
- 11) 付録……12**
  - ①メールのやりとり記録
  - ②別紙：業務日報と交通費明細（20 頁分）

## 1) 事業の目的と概要

### ①移住相談、空き家紹介、地域に結びつけていく

事業の目的は「定住促進」です。

春野の暮らしの発信を行い、〈まちなか〉の人に「春野町に暮らしたい」という関心をもってもらうこと。移住相談、空き家紹介、そして地域に結びつけていくことにあります。

### ②一人ひとりケースが違ってくる

「春野がいいところだから、おいでください」とアピールし「空き家を紹介しておしまい」だけでありません。さまざまな相談に応じることになります。おのずと一人ひとりケースが違ってきます。

ただ田舎に憧れる人、豊かな自然で子育てしたいという人、都会暮らしに疲れて田舎に活路を見出したい人。「安くていい物件」だけを求める人、春野が気に入る具体的に探している人、仕事を自ら作る力があって田舎暮らしする人(例えば：有機農業、お茶、林業、竹細工、木工、福祉関係など)、十分な年金があって余裕の田舎暮らしする人など。

やりとりは、「暮らし・仕事・生き方相談」にもなっています。「生活基盤」「子供の教育環境」「医療」「買い物」「ネット環境」「地域とうまくやっていけるか」など多岐にわたるものです。

そうした移住希望者に寄り添っての春野の案内、紹介、フォローとなります。仕事をつなげ、すでに移住した人につなげ、地域につなげます。空き家の家主からの相談もあります。空き家が活用できないときには、解体をひきうけることもあります(今年度は、一棟の解体を行いました)。→P8

### ③外国の人の移住と仕事サポートも

日本人ばかりではありません。外国人の仕事の場づくりのサポートも行いました。今年度は、沖縄の友人からの依頼で、インドネシアの家族によるハラール食品(イスラム食)加工場を探すこともしました。日本人が理解しがたい生活習慣、イスラムという独特な宗教規範もあります。3.11や中東などの争乱からよくないイメージもあります。お互いに不安なものです。そんな彼らを、過疎地の集落へつないでいきました。→P6

### ④仕事がないことが最大のネック

過疎の背景は「仕事がないこと」に尽きると思います。移住したとしても、安定した収入がなければ、定住できないわけです。

仕事・雇用があれば、定住促進は必要ないでしょう。自然と人は増えていきます。しかし、過疎地に仕事は、なかなかありません。かつて繁栄した林業やお茶は不振、農業もきびしいところです。森林組合、老人介護施設、養護施設、縫製工場など、求人がたまにはありますが……。

ともあれ、山里で仕事を作るのは、なかなかハードルが高いことです。しかし、それがないと定住は難しいわけです。そのためには、実例の紹介、ネットワーク作りが求められます。そこで、交流会など主催してきました。

### ⑤子育ても課題

子育ても課題です。とくに移住者の子育ては母親に負担がかかります。祖父母や親戚は近くにいません。保育園もないし、学童保育も難しいです。移動距離もあります。8年で2校が廃校しました。移住して家を改修して、夫はまちなかに通勤、母親は三人の子育て、やむなく転居した人もいました。そのための、親子の交流会も企画しました。

### ⑥地域との付き合い

地域との付き合いも大きな課題です。集落を挙げて歓迎会を行ってくれた地域もあります。移住者には地域と馴染めず孤立する人もいます。家主の許可を得て、「さあ引っ越し」という時になって、地元の自治会から移住者の受け入れ反対というケースもありました。集落によって温度差があります。そのあたりも、移住希望者には伝えています。

### ⑦三つの壁にトライしていく

以上、要約すれば、三つの壁があります。

一、空き家がない。(空き家はあるが、貸してくれない)。  
二、仕事がない。(仕事は自分で作る。そのためのネットワークづくり)

三、地域の閉鎖性。(地域によっていろいろある。もとの移住者などからの事前のリサーチなど)

この事業は、そこにトライしていくことになります。しかも、総論ではなくて、すべて個別な対応です。しかし、この流れは、委託事業が完了しても継続してまいります。

## 2) 移住相談／アプローチ

### ① HP、Facebook、ブログから

HP、Facebook、ブログなどを通して春野暮らしを発信。それらの媒体を通して、メール（年 20～30 本）。電話（年 20～30 本）のやりとり、訪問を受ける（年に 20～30 組以上）。

<http://haruno-cafe.net>

### ② ZOOM、Skype、ChatWork などネット会議から

相談会やこちらに來れない人もいるので、ネットを活用した語らい。ZOOM（パーソナル会議室）、Skype や Messenger（ネット通話）、ChatWork（チャットでの相談室）などで、移住希望者とやりとりをする。

### ③人を介して、口コミによって

友人、移住者、地元の人、ネットでの交流、説明会などの出会いから、人を介して相談がくる。

### ④地元のイベントから

「春野人めぐり」（春野の暮らしのオープンハウス：2011 年に池谷が立ち上げ）の開催の折に訪問を受ける。「ラブ・ファーマーズ・カンファレンス」（全国有機農業者の集い、9 月に春野山の村で開催。4 年前の立ち上げには、楽舎が共催、以來、講座や相談の場を設けている）、それらの講座、交流会で説明し相談を受ける。

### ⑤パンフレットから

昨年、作成して配布した、「はるのびより」「空き家相談窓口」を見て訪ねてくる。これまで、別荘を処分したい、春野にワイナリーを作るので雇用者の社宅を探している、空き家の活用と解体の相談などがあった。

### ⑥説明会・相談会から

〈まちなか〉で開催した「田舎暮らし雑談会・相談会」の会場でのやりとり。後日、訪ねてきての相談など。

## 3) 移住相談の事例

### ①暮らし相談、仕事相談、生き方相談：全体として 56 件

たんに「空き家」をつなげていくのではなく、田舎暮らしの魅力、大変さを伝える。定住するための安定的な仕事をどうするか、春野のそれぞれの集落の特徴なども。

仕事のない人は、森林組合、養護施設、デイサービス、茶工場、などの仕事を紹介したりする。子育ての夫婦には、保育所や幼稚園などの子育て環境。年配の人には、医療環境、買い物環境などを伝える。暮らし相談、仕事相談、生き方相談ということになる。

### ②移住者 Map を渡す

GoogleMap にマーキングして作成。どのエリアにどういう移住者がいるか、どこに移住希望者に協力的な人がいるのか。親身になって相談し、案内してくれるキーマンはどこにいるか。それらをマッピングして渡す。それをもとに、訪ねてもらう。



藍染の仕事場を求めて来訪



子育てに春野をと来訪

### ③移住者と地域のキーマンに紹介

ポイントは、移住者の暮らしぶりに接してもらうこと。移住がうまくいっている、あるいは失敗例、苦労談、楽しさなどが生きた情報が伝わること。移住して数年たっている人を紹介し、いろいろな田舎暮らしの実例を知ってもらう。地元で顔の広い人、親切な人、ネットワークを持っている人、移住に協力的な人を紹介して、人と人をつなげていく。

### ④田舎暮らし入門を渡す

田舎暮らしのポイントをまとめたマニュアルを印刷して渡す。Facebook 上にも、田舎暮らしの失敗例、落とし穴の事例を投稿して集めている。成功例よりも失敗例が活きる。

### ⑤地域の案内

春野という地域を知ってもらうために、周辺を案内する。空き家、施設、町並み、暮らしの案内（クルマで同行）。その人の状況やタイミングに応じて空き家を案内する。空き家といっても、すぐに貸してくれる、交渉次第、売却したい、そのうち空き家になりそうなどところなど、いろいろだ。

### ⑥宿泊提供

通称「らくあん」に泊まって空き家探しなどに役に立ってもらう。年間 11 組が利用。

## 4) 定住に結びついた人、可能性ある人

**榛葉直己（66 歳）** ……「山の村」でのジビエの仕事があるということで、気田のエリアでの空き家を探していた。出身は石切。気田に空き家を見つける。掛川と春野の二地域居住だが、ほとんど春野にいる。現在は、はるのケアセンターでの夜勤の仕事。

**松下倫子（37 歳）** ……空き家探しに来たが、仕事がネック。デイサービス、喫茶店などを紹介する。安定した仕事をしながら、ゆっくり空き家探しをするのがいいということで、「山里いきいき応援隊」に応募をすすめる。結果、採択されて春野に定住することになった。

**増田力也（49 歳）** ……数年前に、杉地区の家主に相談されていた。「空き家の管理が負担。補修しようとする 150 万円、解体しようとする 300 万円。しかし、そのままにしておけない」と。そこで、「タダで貸してあげて、その人に家の補修と管理をしてもらったらい」と提案をした。増田氏は、楽舎主宰の空き家めぐりに参加し、その家に出会い、暮らすことになった。しかし、まちなかに仕事もあり、数年間は、二地域居住であった。昨年、気田の児童養護施設（すみれ寮）に就職し、春野に定住することになった。鍼灸師の国家資格があるので、春野のデイサービスの機能訓練指導員の仕事も紹介した。

**斉藤芳郎（67 歳）** ……池谷所有の空き家（山路）と賃貸契約し、地元の自治会長（山路と赤岡）に紹介したが、電気と水道の設備がうまくいかないの、倉庫として借りることになる。当面は二地域居住だが、木工と介護が仕事なので、仕事場としては、池谷の納屋で木工をすることに決まった。さらにはもう一つの納屋において、障害者のためのギャラリーをつくるという方向である。

**菱村正敏（66 歳）** ……地域のデイサービスで 2 名の欠員（1 名退職、1 名はケガで休養）が出たために、SOS が入り、適当な人を探す。その過程で、友人の菱村正敏さんにつなぐ。経営の継承も含めて打ち合わせ。春野で数回、ZOOM で数回のやりとり。6 月までに事業継承の運びとなるが、借地権の承認などで、地主との交渉中。名古屋から移住の予定、さらにその友人（長谷川）も、空き家があれば移住という方向。

**岡田実希子（23 歳）** ……楽舎で定住促進の事務のサポートをしていたが、デイサービスのスタッフとしてのアルバイトにつなげた。定住する予定。

その他、移住したいという人は多いのだが、ペーパードライバーで移動が困難、都会で介護の仕事をしていてこちらで仕事があるのかという不安、女性の独り身での暮らしの不安、などを聞くと、せめて駅の近くの田舎である二俣とか森町などを勧める場合もある。ビレッジハウス（元の雇用促進住宅）を借りながら、

それぞれ地域性、自分が暮らしていけるのか、じっくり観察して移住するのがいいよと勧める場合もある。

## 5) 仕事をつなげる

### ①山里いきいき応援隊

移住相談に来て、仕事がないので、定住はなかなか難しい。デイサービス、茶工場、レストラン、喫茶店などを紹介。松下倫子さんの場合、「山里いきいき応援隊」を勧めた。地域活性の仕事をしネットワークが作りながら、適当な空き家を探したらいいと提案。結果、タイミングよく山いき隊に採択されことになる。

### ②地域密着型通所介護施設

地域のデイサービスを継承する流れを作っているところ。8月に開業申請し、10月に継承の予定。借地権の承認などで、地主との交渉中。

### ③森林組合／養護施設／木工所

春野森林組合の岡本組合長に挨拶。「つねに募集はしているので、移住したい人がいたらつなげてほしい」ということになる。また、出雲殿の互助会の会長が、森林に対して貢献したいということで、社長秘書が来訪。森林組合長につなげる。

以前、つなげた空き家(春野町杉)に不定期に通っていた増田力也氏(49)が、春野に就職が決まり(すみれ寮：養護施設)定住することになる。鍼灸師の国家資格もあるので、機能訓練指導員として、地域のデイサービスに勤務できるようにつなげた。

また、楽舎で定住促進の事務のサポートをしていた岡田実希子(23)も、気田のデイサービスのスタッフとしてのアルバイトにつなげた。定住することになる予定。

春野町山路の空き家につなげた齊藤芳朗は、本業の木工の作業所として楽舎理事長の池谷所有の納屋の加工所を仕事場として借りることになり、そこで仕事をする。契約を結ぶ。

### ④田河内のお茶

田河内製茶組合から、2軒の茶農家(2町歩と1町歩半)の継承の問い合わせ。昨年からの流れであるが、お茶販売を2年前から開始した森下薫氏などに、紹介する。

### ⑤インドネシア家族 ハラルの食品加工

インドネシア人の家族(2家族8人、4月に次男が結婚予定で分世帯して3世帯9名：プラディ家：ディファン、アニー、ダダ、アディー、長男家族のディマス家3人：沖縄在住)から、ハラル食品(イスラム教徒向けの食品)の加工と販売を行いたいので、加工所をさがしてほしいという依頼あり。

日本国内、インドネシアのイスラム教徒に向けての食品の加工・販売である。地元の野菜も購入して加工するということで、六次産業であり、雇用と地域活性にもつながる。国際交流、異文化交流にひろがる流れである。インドネシア富裕層のインバウンドの可能性も。

そこで、春野町の「花梨の里」(9,000坪にレストラン、多目的ホール、宴会場、10棟のロッジ)を案内。また、閉店した平木の「霧の丸」と「大都会」なども。こちらは、破産管財人ともやりとり。平木自治会とO重機の土地であり、そのあたりが調整の難しい。

森町の我楽王国(2町歩)、三倉の空き家、磐田市の万瀬のレストラン(ぼうらや)と農村体験施設も案内。結局、即稼働ができる万瀬の農村体験施設を加工所として借りることで進めた。

しかし、大切なのは集落の了解。集落の全員が参加して、二度の披露。インドネシア料理を提供しての交流会を開いた。、村人全員の賛同を得る。その経緯は、内容『週刊東洋経済』に掲載された。また、ヤフーのビデオジャーナリストも継続して取材中。NHK静岡支局、池上彰の特番も関心を示してアプローチあり。



契約書(右)を池谷が作成して、(有)万瀬やまびこ会(万瀬の集落全員が社員)の代表と、インドネシア家族が、神前で契約の締結を行う。保健所の許可も下りて、4月から稼働という流れとなる。

しかし、ここで問題が起きた。その施設が、磐田市と静岡県、国からの補助施設ということで、「規程では転貸できない」と行政からストップがかかる。

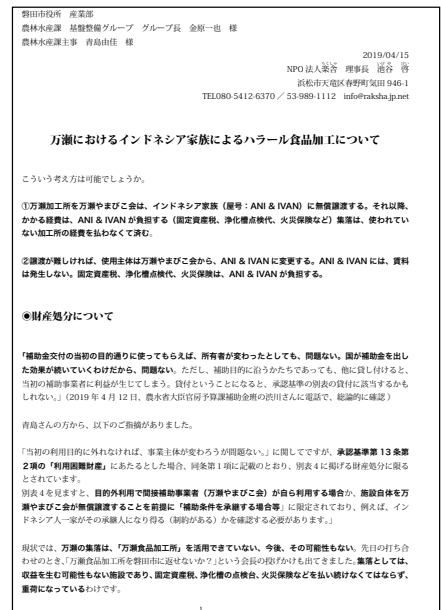
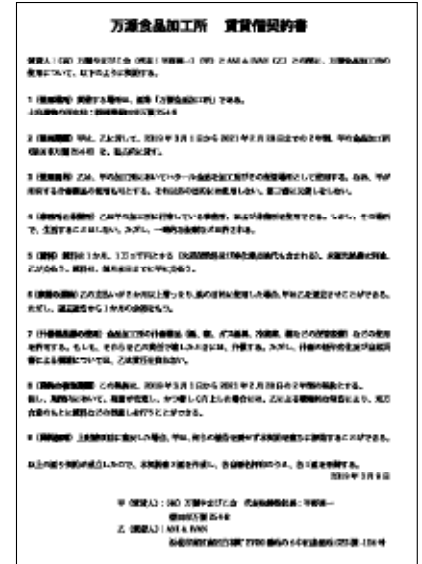
そこで、万瀬の集落(万瀬やまびこ会)の代表3名と、磐田市の磐田市の農林水産課と打ち合わせ。さらには、規程の解釈をめぐり、農水大臣官房経理課補助金班、農村振興局農村政策部都市農村交流課企画調整班などと打ち合わせ、現在も折衝中(右書類)。

現在、インドネシア家族が、「万瀬やまびこ会」に加入して、万瀬集落の一員となることで、対応できるように交渉中。なんとか軟着陸しそう。またインドネシア技能実習生を呼べるように段取りをしている。

また、勝坂の「神楽の里」も検討。かつて、池谷が浜松学院大を集落に紹介したが、文科省の助成事業が今年の3月に完了した。浜松学院大として次の方向性は、まだ出ていない。学院大と詰めることになる。

その他、龍山の民家、領家の別荘、春野の空き地にスーパーハウスを建てて、そこを加工所にするなど、現在、進行中。春建という組合所有のログハウス群(国道沿い)の活用など、正久工業や理事にも折衝中。

※これら事業は、理事長の万瀬一気田移動の交通費以外、経費に計上していない。



## 6) 空き家・土地の情報収集

### ①地域よりの口コミによる実地調査

地域の自治会、茶農家、デイサービス、民生委員、移住者などから、空き家情報を得ていく。

人づてに聞いていくことが、いちばんの近道。口コミの力。「はるのびより」などで広報したり、講座を開

催しながら流れづくりとなる。井口園、尾上、八蔵園など地域に古くから活動している方との情報交換。

## ②パンフレット

かつて作成した「空き家相談窓口」「はるのびより」を見て、問い合わせが数件あり。

## ③空き家の活用の問題点

空き家があっても、即、入居できる空き家は少ない。移住希望者の好みに合わない。遠すぎて仕事に通えない。雨漏りがして廃屋に近い。家主と連絡が取れない家主が施設に入っていて、いますぐには貸せない。ひとり暮らしの親が亡くなったが、遺品整理に手間取るので時間がかかる。水回りなど改修の費用、日当たりが悪い。湿気がある。さまざまな乗り越える要素がある。

家主が「貸す」という決断にいたるまで、時間がかかる。「貸そうか、どうしようか」「いちど貸したら、なかなか返してもらえないかも」「地域と、うまくやってくれるだろうか」など、懸念がある。移住希望者が地域の信頼を得る必要がある。

空き家の所有者は、ほとんど春野町内にいない。しかも、連絡先がわからないことも多い。地元を介して、気長にアプローチしてゆくしかない。

また、借り主が自己負担で補修して快適に住める状態したが、数年後、「家を返してもらいたい」というケースもある。相続が発生して、遺族から言われるケースもある。借りる人は、本腰を入れて補修ができにくい。

自治会に動いてもらうことがポイント。けれども、地域によって温度差はある。ぜひ来てもらいたいという集落、歓迎意欲のない集落など。温度差がある。自治会長の意識もそれぞれ。

## ④空き家の活用から「手ばらし」解体まで

空き家を活用したいが解体となる場合もある。春野を離れて30年間となる。毎年、数回は帰ってきたが、年もとり管理が大変。そこで処分したい。借地なので更地にして返さないといけない。そういう相談を受けた。

そこで、空き家の活用法を提案。更地にするためには処分に費用がかかる。その費用を住んでくれる人に提供すれば、家は活かされる。

移住者を募ってみたが、なかなか現れない。隣家に譲渡することも検討してもらったが、土壇場で断念された。結局、解体することになった。不思議な事に、解体が決まってから、住みたいという人が4組も現れたが、時すでに遅しであった。

解体には、楽舎が全面的にサポートすることになった。150年も前の思い出が詰まった家である。心をこめて解体を行う儀式を行い、地域の住民、隣町の議員、家主、隣家が参加。雇用は、地域の人、移住者、地元の人たち延べ40人。

丁寧に「手ばらし解体」した。古材も活用できる。また、菩提寺を訪ねて、住職夫妻に挨拶。躯体がつぶれるときには、「敦盛」を舞う。更地にしたときには、地主、家主、隣家、解体にかかわったメンバーとの食事会。

こういうところから、信頼を得て空き家の活用の情報も伝わる。静岡テレビが現場に二度も来て取材。「空き家の解体」テーマにして、番組を企画したいという提案もあった。

※これら事業は、理事長の交通費以外も経費に計上していない。





## 7) 移住説明会・田舎暮らし講座

### ① まちなかの公共施設にて

鴨江アートセンター、県居協働センターにて開催。11回。毎回5～10名余。

説明会と個別相談、山里における起業についてのやりとり（ウェブデザイナー、フリースクール、デザイナービス、茶園、竹の活用など）

ラブファーマーズ・カンファレンス（春野の山の村で毎年開催）にて、移住の説明。

NPO法人「雲を耕す会」の主催した「山里暮らし：春野篇」の案内を務める。移住者の暮らし、風格ある植田公民館、旧勝坂小学校などを案内。犬居～気田～小石間～勝坂～植田。参加者12名。



### ② ZOOM でネット相談

Facebook で案内して、ZOOM で相談会を開催。ネット上でのやりとりが可能。顔出ししながら自由なやりとりができる。参加者同士の会話も可能。

### ③ ネット放送

はままつタウンテレビでの30分のスタジオで録画。Youtubeで配信。300回ほどの視聴回数。以下のサイト。

<https://www.youtube.com/watch?v=DM1kddCFbMw&feature=youtu.be&fbclid=IwAR3H-z3K4rxiNnXtxwMWkdBJpomUL4Mym2HSgldMHLltnznaToe3rjq9aks>



### ④ 講演活動など

寺院や隣町の議会などによまれて講演をする機会があり、そこで春野の暮らしの講演などを行う。写真は、東区の寺院のときのもの。もう1つは臨済宗の僧侶の研修（クラウンパレス）での講演内容の寺報（発行、薪流会：方広寺派管長の縁のある寺院グループ）。一昨年は、曹洞宗の西部地区の集いの研修に講師として呼ばれた。



## 8) 交流促進

### ① 地元と移住者の田んぼづくり

春野町の久保田、熊切の中羽根に3反の田んぼを借りて、無農薬の田んぼづくり、大豆の栽培、ブルーベリーの栽培を継続している。

今年は、大友家を中心となって、早川家、天野家など、移住者と地元、そして〈まちなか〉の人たちが参加して栽培を継続した。子どもたちも自由な泥んこ遊びなどを楽しみ、親子の交流の場にもなっている。

※これら事業は、理事長の交通費以外に経費に計上していない。



## ②親子の交流の場づくり

移住者、Uターン組の、天野家、早川家、大友家、高津家の親子たちなどが集い合う場作り。遊び場はたくさんあっても、近くの子供がいない。祖父母も親戚も近くにいない移住者の子育てはも母親に負担がかかりすぎる。そこで、定期的に親子がつい遊べる場を作っていた。

※これら事業は、理事長の交通費以外も経費に計上していない。



## ③田舎暮らし相談会での交流

〈まちなか〉で開催する「田舎暮らし雑談、相談会」は、一方的な説明会ではなく、参加者の交流の場でもある。



## ④知的障害者の山里体験

直接的には、定住促進にむすびつくものではないが、名古屋から知的障害者 40 名 + スタッフ 4 名のツアーを 4 年間継続している。春野の田んぼ、熊切川のほとり、引佐の川奈野外センターを活用して、山里体験。

スタッフのうち 2 名が、春野に移住を検討。そして、春野のデイサービスの事業の継承に乗り出すという流れができつつある。※これら事業は、理事長の交通費以外も経費に計上していない。



## 9) 広報発信

### ①ホームページ、SNSの活用

ホームページで春野の暮らしを発信。Facebook、ブログでも発信。Facebookのグループでは「こんな田舎の失敗。苦労談」というルームで、語り合いの場もつ。多くの読者（Facebookは2,000人余、ホームページは月間訪問者1,600人）がいる。ブログを通して、春野の暮らしの魅力、あるいは山里暮らしのたいへんさ、課題を伝えている。また、「チャットワーク」というアプリを活用して、チャットでの田舎暮らしのやりとりを常時、行う。

### ②雑誌、新聞広報

インドネシア家族の移住計画、ハラール食品加工場の活用に至る流れは、週刊「東洋経済」で取り上げた。ヤフーの映像ニュースでも、現在、撮りためて配信の予定（インドネシア家族が過疎地で起業）。NHK静岡支局でも企画打ち合わせ中。8月には森町と袋井市の議員と行政職に講演予定。

また、空き家の解体と移住者の暮らしというようなテーマで、静岡テレビでも、企画書をあげてシリーズにしたいという。



### ③はままつタウンTV

春野の田舎暮らしのテーマで30分間のスタジオ録画（板屋町スタジオ）をYoutubeで配信した。現在の視聴回数は、300回弱である。

<https://www.youtube.com/watch?v=DM1kddCFbMw>

### ④ZOOMでの会議と相談

ネットにおける会議室ZOOMで、不定期に田舎暮らしのやりとりを開催した。毎回、3～5名の参加。案内はFacebookなどで告知。

## 10) 今後の課題

### ①田舎暮らし希望者の意識

漠然としたイメージが先行して、テレビ番組の「人生の楽園」のようなあこかかたで移住相談に来るタイプ。そういう人には、案内はするが、田舎暮らしの光と影、たいへんな部分も伝えるようにしている。

田舎暮らしは春野。と決めていて具体的な場所探しの相談に来る人・山里でちゃんと仕事を友なつて定住しようという人。仕事につなげられるように紹介していく。地域のネットワーカーにもつなげていく。

### ②仕事があれば定住は難しい

田河内でお社の栽培を継承してくれる人を求めている。デイサービスで事業の継承を求めている。森林組合は、適当な人材がいれば募集している。お茶の繁忙期には、茶工場でのアルバイトの仕事がある。新規就農支援制度の活用など、多面的・横断的なサポートも必要となる。

### ③移住者の子育ての難しさ

祖父母や親戚が近くにいないために、どうしても母親に負担がかかる。子供の絶対数が少ないので（例えば、気田幼稚園の年少の同級生は4名）、遊ぶ場はあっても友達と出会えない。そこで場所と日にちを決めて、

夜子で出会える場を作る。そこで、安心して子どもたちが遊び、母親は情報交換、分かち合いが可能となる。そうした場作りを継続していく。

そういうネットワークのあることが、安心して、子育てができる地域となるわけだ。それが春野の定住促進へ向けての魅力につながることになる。

#### ④地元との交流

地元の協力なくして定住はなかなか難しいが、地域によって温度差があるのは確かである。春野人めぐり（7年前に池谷が立ち上げ）などは、移住者と地元が参加して、交流の機会となっている。

無農薬田んぼづくり、親子の遊び場づくり、デイサービスの場を借りての講座や講演、コンサートなどを開催していく。地元の長老などを訪ねる。デイサービスの事業の継承。地域包括、社協、民生委員と面談してネットワークを広げていく。その過程で、デイサービス継承の流れも起きてきた。

#### ⑤地道な広報活動

ホームページの地道な発信。Facebook など SNS での発信を続ける。

また、そうしたつながりから、講演の機会なども起きる。今年の8月6日、森町と袋井市の町市議会議員と行政職の80人の前で「過疎地における外国人との交流」というテーマで、講演することができている。

#### ⑥外国人の力

インドネシア家族によるハラール食品加工工場探しの動きも継続している。かれらが受け皿となって、インドネシア人の技能実習生の受け入れの体制もできつつある。安心して食しのできるインバウンドツアーの展開もある。

また、はるのケアセンターでは、11月よりミャンマーの技能実習生が2名やってくる。ペルー人が金属回収によくやってくるし、気田に倉庫も設けた。ブラジル人の中古車屋も活躍している。中国から嫁いできた人もいる。二俣の近くには、ブラジル人が数百人集える教会もできた。富塚のカトリック教会では、礼拝者200名の半数が外国人という。過疎地には、外国人の力、仕事を持ってやってくる外国人とどうやってうまく融合していくかという課題も出てくると思う。

### 11) 付録：移住相談の内容：メールの問い合わせとやりとり

#### 〈東京：よしむらさん〉

はじめまして。現在は、東京で暮らしています。54歳です。

もともとが田舎で育ったこともあり、田舎での生活を送りたいと何年前から考えてまいりました。娘が、今年高校を卒業し、子育ての手もすっかりかからなくなったのを機会に、夫婦ふたりでの移住を考えております。

わたしの奥さんが、浜松の出身だったこともあり、春野のすばらしさは、以前より聞かされておりました。私たちがこれから暮らす先として、春野町を候補に考えており、いろいろお話を伺いたいなあ、と思っております。

実は、この週末（8、9日）に、夫婦で春野町に伺ってみたいと思っているのですが、そちらでお話を伺わせていただくことは可能でしょうか？（急なお願いですみません）

また、ホームページの方で、らくあんさんが宿泊可能と拝見したのですが、8日の夜、宿泊させていただくことはできますでしょうか？（ほんとに急で申し訳ないで

す。）何卒よろしく願いいたします。

先程、送信させて頂いた者です。HPから、色々とダウンロード出来ました。GW中にパンフにある店舗等を春野観光を兼ねて訪ねています。

#### 〈東京：長谷川さん〉

はじめまして、移住相談お願い致します。

はじめまして、浜松市南区在住の長谷川玄（はせがわげん）と申します。

素敵なホームページ、拝見させて頂きました。いつも心温まる情報を発信して頂き、本当にありがとうございます。

私は愛知県岡崎市出身で、最近両親や兄妹の住む自然豊かな岐阜県本巣市に一年間住んだ後、パートナーとのご縁で今は南区に居ります。

パートナーとは2年後に結婚する予定です。

自然大好きな私達が安心して暮せる場所を探している

中、素敵なホームページにご縁を頂けてとても嬉しく思っております。

現在40才の私は、約20年間ボディワーカー（セラピスト）として真剣に病や不調、様々な人生の悩みに取り組んで来ました。

そのような状況から、どのような病や不調、悩みにも自然とお答えできるようになりました。

私が今住んでいるところは、四方を工場に囲まれた場所にあり、残念ながら美味しい空気を味わう事はたまにしなれません。

そんな中、浜松に来て知ったのが春野町の素敵な大自然です。時間を見つけては春野町に出掛け、ただ気持ちのいい自然と、美味しい空気を味わっております。

2年後、パートナーとの結婚を期に春野町で住みたいと考えております。

そこでお聴きしたいのですが、家賃はタダ、地代だけ年に1万7千円という家”はご紹介頂ける対象になりますでしょうか？予想では、廃屋寸前の家屋があるが、住める状態ではない物件なのかと勝手に想像しました。

もし、そうであるならば2年かけて少しずつ補修に出掛け、2年後を目標に住めるように出来たら家賃もお安く嬉しいなと思ったのです。

または、その土地にタイニーハウスを設置して住めるように工夫して行く事も考えています。もしよろしければ、一度ゆっくりお話し出来ましたら幸いです。ご連絡、お待ちしております。

#### 〈北インドのメーダ・ミチカさん〉

池谷さん、ナマステ、お久しぶりです。今、生徒さんたちが年に数回数十人で勉強会を開催できる場所を探しているのですが、先日遊休施設について投稿をされていたのを思い出し、メッセージしております。自分でネットで検索してみようと思ったのですが、キーワードがよくわからず、やっぱり池谷さんにどこを見ればいいのかお伺いしようと思えました。参考になるリンクや、アドバイスを頂けないでしょうか。ご多忙を極めておられる中、恐縮ですが、いつかお返事をいただけたら幸いです。よろしくお祈りします。あかりちゃんの写真も最近見えないので、また見せてください。I love you! ともお伝えいただければ幸いです。祈りを込めて。。。M e d h a

#### 〈長野県：初川さん〉

お忙しいところ失礼します。

初めまして、長野県在住の初川と申します。

現在移住先を探しており、楽舎様のブログに行き着きました。

実は突然で申し訳ないのですが、明日、水窪に物件を見に行く予定です。

その後で、春野にも立ち寄ってみたいと考えております。

急なことなのでもちろんご都合が悪ければ、さらっと町を走ってみて引き上げようと思えます。

私は現在、標高1000mを少し越える軽井沢町に居住しています。

縫製と染めを生業としており、これは軽井沢でなくてもできる仕事です。畑で野菜と藍を育てています。

軽井沢は年間の半分が冬で、年間気温も非常に低く、藍の栽培と藍建てには適しません。このため、標高を下げた今の仕事を継続したいと考えております。

また、夫が木工をします。かつて職人でしたが今はたまたま趣味で機械を動かす程度ですが、それでもそのときには音が出ますので、

近隣の方に迷惑がかからないようできるだけ離れた場所です、畑のスペースが十分にある（現在は80坪ほどの畑です）ところを探しています。

残念ながら若くはなく、60代と50代の夫婦です。

明日見に行く予定は水窪の山の上で、標高が500ほどあるようです。

できればもう少し下げたいと思い、春野は多少下がるように地図で見えましたので、こちらも視野に入れてみたいと考えている次第です。

長々とすみません。明日あらためて近くからお電話を差し上げたいと思います。もしご都合が悪ければ、お手数ですがメールでお返事いただけますでしょうか。それをしていただきましたらお電話せず、町を見て帰ります。どうぞよろしくお祈りいたします。

#### 〈ヤドカリさん〉

はじめまして、突然のコメント失礼します。

普段は、仕事の合間をみて、お年寄りが出来なくなりつつある庭の草刈りや、やせた杉・ヒノキの簡単な間伐などをしています。

人とのつながりを大切にしたい、それが自分にもプラスになればと思っています。困っている方、場所あれば、連絡よろしくお祈りいたします。

#### 〈藤田昌弘さん〉

こんにちは、川上のログハウスについてですがまだ販売されていますか？

もし販売されているのでしたら価格など詳細が知りたくてメールさせて頂きました。よろしくお祈りします。

#### 〈水野さん〉

初めまして水野文子と言います春野町気多の出身です

来年定年になるため春野に帰ること考えています

母と二人暮らしです

今収入があるうちに住む家探したいと思っています

どうか相談にのっていただけると助かります。

帰ってからの事も考えていますがまずは住む家探しからしたいと思っています

#### 〈浜松市：正守さん〉

こんにちは。

浜松市富塚町から、ご連絡いたしております。

現在26歳女性、6月から、無職になる予定の正守由奈です。今までは、うどん屋で、バイトをさせていただい

ていました。春野町の、見学のために、仕事をやめました。一人暮らしを希望しています。

カフェなどを作りたいわけではないです。

おじいちゃん、おばあちゃん世代のかたと、すぐ、仲良くなります。田舎が自分に、合います。どうか、居住先の、サポートをしていただけないでしょうか。

ご連絡お待ちしております。

#### 〈春野：小澤さん〉

今年の2月に春野に移住してきました、5歳と2歳の娘を持つシングルマザーです。現在は間借りをして、空き家を探しています。

今の間借りの家に住める期間が今年の11月までで、娘は来年小学校入学なので、なるべく早く決めていけたらと思っています。こちらのサイトをみつけ凄く嬉しかったです。どうぞ宜しくお願いします。

#### 〈神奈川：高山さん〉

はじめまして。高山と申します。横浜市青葉区に住む40代の夫婦です。7才(小2)と4才(年中)の子どもがいます。

天竜区への移住に興味があるのですが、まだ漠然としたイメージしかなく中々ご相談させてもらってよいものかと思いつながら連絡させてもらっています。

青谷に住み浜松で税理士をしている叔父がいて、天竜区役所の移住相談窓口を教えてください資料を送ってもらったものの、天竜区域が広く特色も異なり迷ってしまい、こちらに連絡させてもらいました。

私の母が青谷出身で、父母とも浜松生まれのため、浜松には親戚がたくさんいます。

けれども私は横浜生まれで、夫も埼玉出身のため、夫婦とも田舎での暮らしについては分かりません。

ちなみに夫の母は島根出身で、現在は埼玉に住んでいます。夫婦とも子どもの頃から、田舎の暮らしは祖父母の家に遊びに行くことで垣間見てきました。

そのためか、このまま都会で暮らして年をとっていくイメージがわからず、かといって田舎で暮らす具体的な手立てもないまま現在に至っています。

そこで今すぐ実現できなくても、とにかく現地に足を運んでみて、人との出会いの中で少しずつ移住について考えていかれたらと思いました。

前置きが長くなりましたが、夏休み中、8月5日～9日に春野町を訪れたいと思っています。

春野の町を知るのによい場所があったら教えていただけないでしょうか？

近くなってしまい、泊まる場所もどうしようかと考え中です。夫は現在特別養護老人ホームで看護師をしています。

#### 〈池滝さん〉

こんにちわ。先日夫婦で突然池谷さん宅に押しかけたのにも関わらず、いろいろお世話になりました。西野神楽についてのPDFを送ってもらえるとのことですが、上

記のEメールアドレスに添付してもらえますでしょうか？お手数ですが、宜しくお願い致します。暑い日が続きますので、身体に気を付けて下さい???

家族の好きなことは、キャンプやお祭り伝統芸能です。

何か少しでも手がかりをいただけたら、大変有り難いです。

一方的に私たちの話ばかり致しましたが、やりとりさせていただければと思っています。

近々のことの相談になってしまい、申し訳ありません。

ご無理ないようできる範囲でよろしくお願い致します。

(明後日の夜までメールが見られません)

#### 〈下々村起代子さん〉

初めまして。シタムラと申します。

サイトを見て川上の空き家が気になりご連絡しました。

もう、入居者の方は決まってしまいましたか？

まだ決まっていないのであれば、賃料など詳しい事を聞きたいと思っています。

よろしくお願い致します。

#### 〈40台〉

NPO法人勤務。妻と子ども二人。春野に移住を考えている。春野人めぐりにも参加。国立の説明会。2日間かけて、春野の物件を探す。浪漫堂の物件。久保田の一軒家を見る。久保田の移住者、中林さんに地域のことを話してもらう。また、里原の天野さんを紹介して、里原の空き家について話してもらう。国立の説明会に参加。

#### 〈林啓子：60歳〉

女性 独身。東京都世田谷区在住 都会を離れて田舎暮らしをしたい。しかし、人のつながりがないと暮らせないので、池谷さんのいる春野を考えている。家賃7万円。現在、仕事は、ヘルパーと医学書の校正。ペーパードライバー。国立と新宿の説明会に参加。

・町田あたりの3万円台のアパートに移りながら、都営住宅に応募する。都内で、いま仕事があるというのは、安定性がある。独居老人が増えてきて、ヘルパーの仕事もニーズが高い。

・浜松の二俣というあたりなら、市営住宅あいている。1万円くらいの家賃。メゾネットタイプ。あるいは、ビレッジハウスのようなマンション。

・春野のおためし住宅に住みながら(住民票は移さないで)、春野を観察しながら、都営にも応募する。

・田舎暮らしは、たいへん。体力。クルマの運転。地域との付き合い。なにより仕事がない。介護の仕事は、デイサービスが募集しているが、きつい仕事。田舎に来てしまうと、これまでの仕事の縁が切れてしまう。あえていうと、二俣エリアなら、駅がある。市営住宅も事故物件だが、空いている。市外の人でも応募可能。という提案。

#### 〈岩立正剛：62歳〉

男性 独身。NPO法人勤務。元僧侶。田舎暮らしをしたいが、姉の介護がある。クルマも所有していない。や

はり、二俣エリアの市営住宅を紹介する。新宿の説明会に参加。

〈高澤：67歳〉

男性 独身。小金井に持ち家あり。そこを売却して田舎暮らしを考えている。知り合いのいる熊、池谷のいる春野を考えている。70を過ぎてからの田舎暮らしは大変なので、二俣の市営住宅を進めるが、持ち家があると応募ができない。国立と新宿の説明会に参加。

〈酒井 力：男性〉

60台、独身。春野に移住検討して、池谷邸を訪ねてきた。新築ビルの受け渡し時のチェックの仕事。しかし、仕事がないと安定収入がないので、やはり不安ということで、様子見。

〈菅井哲夫、芽巳〉

50台 夫婦。現在、都営住宅。元教師。介護職。

〈埴 興子：59歳〉

女性。介護職・イラストレーター。練馬の持ち家が売れたら、田舎暮らしをしたい。しかし、人のつながりがないと暮らせないので、池谷さんのいる春野を考えている。春野を見に行きたいが、ハニック障害のために、現在、移動できない。隣家が家を買ってくれるという話が出てきたので、売却のステップに入っている段階。契約代行の人を探しているところ。

〈小林雅三：66歳〉

男性。著述業、占星術のソフト開発。大塚にマンション所有。仕事も先行きが止まってきたので、マンションを売却して田舎暮らしをしたい。ということで、春野来訪。いくつか空き家などを見て回るが、決定的なものがない。郷里の甲府市に移住しようと考えている。

〈小林：64歳〉

男性。デイトレーダー。田舎暮らしをしたい。ということで、春野来訪。いくつか空き家などを見て回るが、決定的なものがない。

〈和田夫妻：40代〉 NPO 法人勤務。妻と子ども二人。春野に移住を考えている。春野人めぐりにも参加。国立の説明会。2日間かけて、春野の物件を探す。浪漫堂の物件。久保田の一軒家を見る。久保田の移住者、中林さんに地域のことを話してもらう。また、里原の天野さんを紹介して、里原の空き家について話してもらう。国立の説明会に参加。

〈林啓子：60歳〉 女性 独身。東京都世田谷区在住 都会を離れて田舎暮らしをしたい。しかし、人のつながりがないと暮らせないので、池谷さんのいる春野を考えている。家賃7万円。現在、仕事は、ヘルパーと医学書の校正。ペーパードライバー。国立と新宿の説明会に参加。  
・町田あたりの3万円台のアパートに移りながら、都営住宅に応募する。

いま仕事があるというのは、安定性がある。しかも、独居老人が増えてきて、ヘルパーの仕事もニーズが高い。

・浜松の二俣というあたりなら、市営住宅あいている。1万円くらいの家賃。メゾネットタイプ。あるいは、ビレッジハウスという外資が買収した元雇用促進住宅は、敷金も礼金も保証人も必要ない。

・春野のおためし住宅に住みながら（住民票は移さないで）、春野を観察しながら、都営にも応募する。

・田舎暮らしは、たいへん。体力。クルマの運転。地域との付き合い。なにより仕事がない。介護の仕事は、デイサービスが募集しているが、きつい仕事。田舎に来てしまうと、これまでの仕事の縁が切れてしまう。あえていうと、二俣エリアなら、駅がある。市営住宅も事故物件だが、空いている。市外の人でも応募可能。という提案。

〈岩立正剛：62歳〉 男性 独身。NPO 法人勤務。元僧侶。田舎暮らしをしたいが、姉の介護がある。クルマも所有していない。やはり、二俣エリアの市営住宅を紹介する。新宿の説明会に参加。

〈高澤：67歳〉 男性 独身。小金井に持ち家あり。そこを売却して田舎暮らしを考えている。知り合いのいる熊、池谷のいる春野を考えている。70を過ぎてからの田舎暮らしは大変なので、二俣の市営住宅を進めるが、持ち家があると応募ができない。国立と新宿の説明会に参加。

〈酒井 力：男性 60台〉 独身。春野に移住検討して、池谷邸を訪ねてきた。新築ビルの受け渡し時のチェックの仕事。しかし、仕事がないと安定収入がないので、やはり不安ということで、様子見。

〈菅井哲夫、芽巳〉 40台 夫婦。現在、都営住宅。元教師。介護職。

〈埴 興子：59歳〉 女性。介護職・イラストレーター。練馬の持ち家が売れたら、田舎暮らしをしたい。しかし、人のつながりがないと暮らせないので、池谷さんのいる春野を考えている。春野を見に行きたいが、ハニック障害のために、現在、移動できない。隣家が家を買ってくれるという話が出てきたので、売却のステップに入っている段階。契約代行の人を探しているところ。

〈小林雅三：66歳〉 男性。著述業、占星術のソフト開発。大塚にマンション所有。仕事も先行きが止まってきたので、マンションを売却して田舎暮らしをしたい。ということで、春野来訪。いくつか空き家などを見て回るが、決定的なものがない。郷里の甲府市に移住しようと考えている。

〈小林：64歳〉 男性。デイトレーダー。田舎暮らしをしたい。ということで、春野来訪。いくつか空き家などを見て回るが、決定的なものがない。いんどねしあかぞくのいじ